



### まめまき

節分は1年の節目とされ、新しい年を迎える前に厄(鬼)を払う行事をします。「鬼は外」「福は内」と叫んで豆をまき、鬼を追い出し、福が出て行かないように戸を閉めて、年の数だけ豆を食べます。「みんなが1年間元気にすごせますように」とお祈りしましょう。

保育園でも豆まきをしますが、自分の心の中にある“ちょっぴり意地悪虫”“泣き虫鬼”“怒りんぼ鬼”などを追い出して、心も体も元気な子どもに成長してくれることを願っています。



### 立春

冬至と春分の間、2月4日ごろにあたります。

立春は、冬と春に分かれる節目の日である「節分」の翌日で、冬の寒さが終わり、暖かい春が始まるとされる日です。言い換えると、春の初日です。



## 令和元年度 2月の園だより



くまの・みらい保育園

### 何かがしたくなる子に育てたい!!

先日の発表会では、たくさんの保護者の皆様においでいただきまして、ありがとうございます。日頃より、遊んできたことを発表しましたが、当日は取り組んできたことが十分発揮できた子、お家の方にかっこいいところを見てもらおうと今まで以上に頑張った子、恥ずかしくてセリフが言えなくなる子、いろいろな姿を見せてくれましたし、いろいろなドラマがありました。保護者の皆様よりたくさん、おたよりをいただいたり、お話しをする中で、一人ひとりのお子さんの成長を感じることが出来ました。そして「お母さんが、ぎゅうってしてくれたよ。」など嬉しそうに話してくれたお子さんが多く、保護者の方に褒めて認めてもらうことが、今後の子どもたちの力になっていくのだなと感じました。

発表会前より、年長のSくんは毎日のように逆上がりの練習をしていました。1日に何度も鉄棒の前に行っては、「さかあがり〜」と自分でかけ声かけながら、足を上げます。最初は足もなかなか上がりませんでした。先生にもアドバイスしてもらい、「足をここに向けてあげてごらん」と手で足の高さを示してもらったり……。何カ月練習したでしょうか。足の付け根を痛め、ドクターストップがかかるほどです。ある日「できた!」とSくんの声。「先生来てきて」と色々な先生に見せ、もちろん私の所まで報告に来てくれました。その嬉しくて、自信に満ちた表情。やり遂げるかってこういうことだと実感するほどです。この子は自ら、逆上がりがやってみたいという思いで、ずっと取り組んでいました。「何かが出来る子ではなく、なにかがしたくなる子に」といつも理事長先生が話してくれます。この子の逆上がりがしたい!という思い、粘り強く挑戦すること、

それを応援する保護者の方、先生、友だちの存在も何より大切なのだと感じました。「何かがしたい」という主体的な思いは、泥んこあそび、制作あそび、カプラを使ったあそびなど様々な場面で友だちと協力する力になったり、崩れてもまた挑戦しようという根気であったりいろいろな力に変わります。自らやりたいくなる、この取り組み、その過程こそが大切です。やってみて成功した時、何かを発見した時、「できたね!」と大人が共感することも大切です。それは赤ちゃんが初めて寝返りをした時、あんよをした時、子どもたちは必ず大好きな大人の方を見ますが、その時、「できたね」と目と目を合わせてにこっと微笑みあう瞬間がとっても大切なのです。親の愛情ですね。

「人が持っているものの良さが、最も引き出されるのは、自分らしさが大切にされる時である。あなたらしさが素敵と思えることです。」と、玉川大学教授の大豆生田啓友先生も言われています。一人ひとりの子どもの個性が大切にされ、夢中になって遊ぶことが保障されること、あなたはあなたのままでいいのよ、あなたにはこんな素敵などころがあるのよと思うことが何よりも大切なのだと思います。保護者の方とこれからもお子さんのことについてお話しをして、一緒に子育てをしていければと思っています。

今年度も残すところ、2カ月になりました。進級や就学することを楽しみにしている子どもたちです。自信を持って、新しい学年、小学校へ送り出せるよう、今一度生活習慣の見直しをしながら、あそびの環境を整え、しっかり遊びこみ、楽しい園生活にしていきたいと思っています。

くまの・みらい保育園 園長

### 小学校体験入学

就学を間近に控え、くまの町内の各小学校では、体験入学を計画されています。

内容は、各学校によりさまざまですが、子どもたちは、ますます就学への期待を膨らませることでしよう。

2月4日	第一小学校	13:40~14:50
2月4日	第二小学校	13:30~15:00
2月14日	第三小学校	14:00~15:00
2月21日	第四小学校	14:00~15:00

